

ITS の推進

目標

「ITS 世界会議愛知・名古屋 2004」や愛・地球博(愛知万博)などの大規模プロジェクトにおける成果を活かし、安全・快適で環境に配慮した地域づくりの実現に向けて、地域課題に対応した ITS 導入を促進します。

【現状と課題】

愛知県では、国土の中央に位置し、人やモノの交流が盛んなこと、県民生活における自動車利用の割合が高いこと、自動車を中心とした厚い産業集積を有していることなどから、ITS(Intelligent Transport Systems:高度道路交通システム)を活用した安全・快適で環境に優しい地域づくりに取組んできました。

ITS の推進については、平成 8 年に国のマスタープランである「ITS 推進に関する全体構想」が策定されてから 10 年が経過したところですが、近年では、カーナビや ETC(ノンストップ自動料金収受システム)に代表されるように社会への定着も進んできており、渋滞解消などの社会的な効果が実感されるようになってきました。また、目覚ましい IT の進展をベースに多様なサービスを実現できるようになってきました。

こうした中、本県では、平成 16 年に「ITS 世界会議愛知・名古屋 2004」が開催され、また、平成 17 年の「愛・地球博(愛知万博)」においては、ITS センターによる来場者輸送の支援を始めとする様々なシステムが運用されるとともに、先進的な ITS の実証実験が集中的に行われました。これらは、我が国及びこの地域の ITS 推進の大きな節目となりました。

今後は、ITS 世界会議や愛知万博の成果を生かしながら、ITS を地域に普及・定着していくための取組みを進めていく必要があります。

【施策の展開】

地域づくりへの ITS 活用を促進する取組を進めていきます。19 年度は、知多地域の関係者(自治体、団体等)が取組んでいる知多半島の観光振興への ITS 活用支援などを行っていきます。以後も、県内各地の地域課題に対応した ITS 導入・実用化を図る取組を推進していきます。

特定非営利活動法人 ITS Japan において、個別の ITS を複数連携して運用する「環境 ITS」を構築し、地域の環境改善に ITS を活用することを目指すプロジェクトが産学官民の参加により立ち上げられています。「環境 ITS」は、ITS 世界会議や愛知万博の開催地であるこの地域ならではのものであり、本県も、このプロジェクトに積極的に参加し、関係者と連携し、推進していきます。

「市民参加」を大きな特色とした「2004 年 ITS 世界会議」の理念を継承する「ITS 交流フォーラム」事業等を実施し、様々な社会的課題を解決する多様なサービスを提供する最先端の ITS を本県から全国に情報発信していきます。

将来の地域を担う若い世代の ITS に対する認知度向上と人材育成を図るため、大学生等を対象とする「ITS セミナー」や児童に交通安全と ITS の役割を学ぶ機会を提供する「ITS 体験事業」等を実施していきます。

【スケジュール】

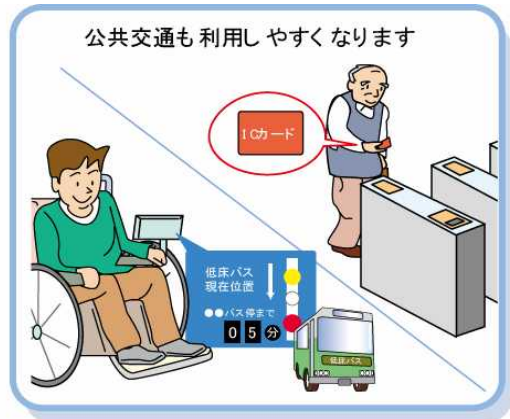
項目	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
地域への ITS 導入促進					→
ITS の普及・啓発					→

【イメージ図】

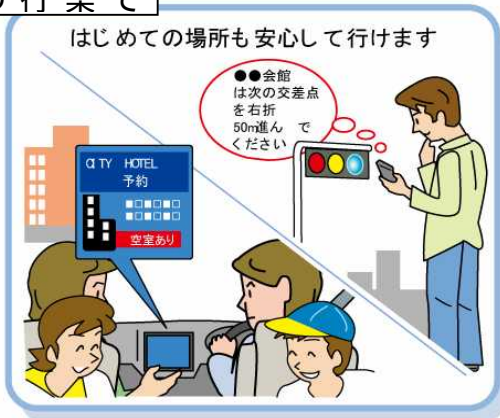
- ・ITSは最先端の情報通信技術(IT)を使って、県民の皆さんの通勤や買い物、旅行の際の「移動」をより安全・快適にするとともに、地球環境に優しい社会を実現しようとするものです。
- ・「カーナビ」や高速道路での「ETC」(ノンストップ自動料金支払いシステム)もその一つですが、ITSは公共交通を使いやすくしたり、高齢者や障害者をはじめ歩行者の移動を支援するなど、幅広い分野及び、そのサービス領域はますます拡大しています。

(県民の安心・快適な暮らしを支えるITS)

日常の暮らしで



休日の行楽で



緊急時では・・・

